

らぬ。  
俺たちの子といは傭米の傭働者なりたか  
り子供のうちから南無徳 傭働者魂を  
レロカリ即ち此まゆゆかりぬ、それこそほん  
とク教育と云ふもした。

傭働者魂といふは勇敢な才学精神  
なり、団体的な訓練だ。俺達傭働者わ  
工場生活から又資本家より才学から作  
りあげた魂。ソレヨリソレヨリソレヨリ  
とはわけわかんない。子供は今もカレカ  
ヨリ教育をニク傭働者魂を張り込ませ、  
水ようとして来たのか、ええやストライキ  
ニそととなり機会だ、  
子供をソレソレノ争議団に力をつけて傭働  
者の才学に一枚加はらせ、一方ニクストライ

キ、勝利をたぐ進歩を才と同時の子  
供にも資本家より才学を自覚させぬもん  
か、ソレノ即ち教育の傭働者魂を、ソレに  
なる限り傭働者魂を、ソレに  
と勝たせし、

才力を一ツに集めたわ、今日争議団を代表  
小島君、その他二三が先づ隅田運送と東京鋼材の争  
議団幹部に相談を行く。

△日本鋼材も今では 鉄業四時同と十八から定時  
に 諸君賃銀七十五割より五割に下せ、近頃は  
亦四割に下せられた、東京鋼材でも定時女工も十  
八から休業に成、又女工賃銀も不景氣なかり  
と、争議団は全力をあげて日本鋼材と東京  
鋼材とをたぶせろ！

△日本鋼材は二万四千円で買へる  
争議団の株は四万五千円押込の十二万株だ  
かニク頃には三千株だ、ストライキは複雑だし、他  
の資本家は、かめ龍、カワキ、資本家大川も八た  
張りかぎた、今一息だ！



争議日報

No. 43  
1934.9.19.

よその争議団と直接手を握れ。

資本家の幾十の工場、傭働者が今俺  
達のストライキの敗勢を熱心に注目して  
援けておるや、庶幾基金家が三十幾  
かの工場をやらなく、送り北におるや  
それだけおはなれり、借債値下と首切りと

きつと大島へ手援に行くとかんでおた、

だが現下とてあるのはストライキの傭働  
者だ！

庶業者同志が手を一つに握りて呉れるの固く  
結構だか、それ大島ははなくストライキ中り争  
議団同志が固く手を結ぶ、一かたよりになぞ  
資本家共におつろそ行のてなれば傭働者の真  
の力は決して發揮されるなり。漢語会を、それを  
争議団同志が一緒になる名なれば資本家  
をほんとして力解かすは出来なれや、我々鉄  
鋼幹部もより争議団と直接手を握ると

以腹だ、近ごろちと東京鋼材、隅田運送  
争議団同志もストライキ共同委員会を作  
て大島、カメ龍、カワキと申込む腹だ。

争議団同志が直接に腹カシロ！  
ストライキ共同委員会を作れ！  
共同の力を産業合理化を論議しろ！